

令和 5 年 5 月 15 日

開会 10 時 00 分

○神谷議長

皆さんおはようございます。まず、定足数の確認をいたします。議員定数 16 人中、ただいまの出席議員は 16 人で、定足数に達しております。よって、令和 5 年第 2 回宗像地区事務組合議会臨時会は成立いたしましたので、ここに開会いたします。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付をしているとおりであります。なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更され、基本的対処方針が個人の選択を尊重することになりましたが、本臨時会におきましては、引き続き、効果的なマスクの着用、換気や手洗いなど、慎重な感染対策にご協力いただきますようお願いいたします。

これより日程に入ります。

日程第 1「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 85 条の規定により、9 番 安部芳英議員、10 番 榎本博議員を指名いたします。

日程第 2「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日限りといたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(なしの声)

○神谷議長

ご異議なしと認め、会期は本日 1 日限りと決定いたしました。

日程第 3「諸報告及び提案概要説明」を行います。原崎組合長から、令和 5 年第 2 回臨時会招集にあたり、挨拶並びに報告事項があれば、お受けいたします。原崎組合長。

○原崎組合長

おはようございます。本日、令和 5 年第 2 回議会臨時会の開催に当たりまして、ご挨拶と提案説明を申し上げます。

皆様におかれましては、お忙しい中、本臨時会にご出席を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症が、感染法上の 2 類から 5 類に引き下げられましたが、引き続き一定の感染拡大防止対策を図りながらの議会の開催となりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本日の臨時会では、3 件の議案について、ご審議をお願いするものでございます。

まず、第 16 号議案であります。国が、令和 5 年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症を 2 類から 5 類感染症に引き下げたことに伴いまして、宗像地区事務組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正を専決処分により行いましたので、これを報告しご承認をいただくものでございます。

次に、第 17 号議案及び第 18 号議案でございますが、一般会計、水道事業会計の補正予算でございます。一般会計は、消防車両維持管理事業費における資機材搬送車購入に係る予算について、繰越明許費を設定するものでございます。また、水道事業会計につきましては、多礼浄水場導水ポンプ更新工事について、令和 6 年度までの債務負担行為を定めるものでございます。

以上、いずれも重要な案件でございますので、何とぞよろしくご審議いただきまして、議決を賜りますようお願いを申し上げます。以上でございます。

○神谷議長

以上で、原崎組合長の挨拶ならびに報告を終わります。

日程第4「第16号議案 専決処分の承認について」を議題といたします。

執行部に提案理由の説明を求めます。高山事務局長。

○高山事務局長

第16号議案をご説明いたします。議案書の16ページをお開きください。

第16号議案 専決処分の承認についてでございます。

宗像地区事務組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について、令和5年5月8日付けで専決処分したので、報告し承認を求める。令和5年5月15日提出 宗像地区事務組合 組合長 原崎智仁

提案理由 新型コロナウイルス感染症については、重症度の低下等に伴い、5月8日に感染法上の位置付けを新型インフルエンザ等感染症から季節性インフルエンザと同等の5類感染症に変更されました。

これに伴い、国は、人事院規則9-129第7条に基づき支給している同感染症への対応作業に係る手当については、同感染症が5類感染症となる日とされている5月8日に廃止することとなりました。

当組合においても、国に準拠するため条例の一部を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったことから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定により専決処分しましたので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求めるものでございます。

以上で、第16号議案の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○神谷議長

本案に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

（なしの声）

○神谷議長

ないようですので、質疑を終結します。

次に、本案に対する討論を受けます。ご意見ございませんか。

（なしの声）

○神谷議長

ないようですので、討論を終結します。

これより、第16号議案について採決を行います。本案を原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(全員起立)

○神谷議長

全員賛成であります。従いまして、第 16 号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第 5 第 17 号議案「宗像地区事務組合一般会計補正予算（第 1 号）について」を議題といたします。

執行部に提案理由の説明を求めます。高山事務局長。

○高山事務局長

第 17 号議案をご説明いたします。議案書の 17 ページをお開きください。

第 17 号議案 令和 5 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算（第 1 号）についてでございます。

令和 5 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算（第 1 号）を別紙のとおり提出する。令和 5 年 5 月 15 日 宗像地区事務組合 組合長 原崎智仁

では、補正予算の説明をいたします。一般会計補正予算書（第 1 号）の 1 ページをご覧ください。

繰越明許費 第 1 条 地方自治法第 213 条第 1 項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第 1 表 繰越明許費」による。

今回の補正は、歳入歳出予算総額の増減はなく、繰越明許費のみの補正でございます。

2 ページをご覧ください。第 1 表 繰越明許費でございます。4 款 1 項消防費 消防車両維持管理事業費において、1,982 万 8 千円の繰越明許費を設定するものです。

これは、資機材搬送車の購入に係るもので、指名競争入札執行のために指名した全者から辞退届が提出され、入札中止となりました。辞退理由の多くが、納期限までの納入が困難とのことであったため、納期を令和 6 年度までに延ばして再度入札を執行するために、繰越明許費を設定するものでございます。

以上で、令和 5 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算（第 1 号）の説明を終わります。

ご審議のほどよろしくお願いします。

○神谷議長

本案に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

(なしの声)

○神谷議長

ないようですので、質疑を終結します。

次に、本案に対する討論を受けます。ご意見ございませんか。

(なしの声)

○神谷議長

ないようですので、討論を終結します。

これより、第 17 号議案について採決を行います。本案を原案のとおり決することに賛成の議員の

起立を求めます。

(全員起立)

○神谷議長

全員賛成であります。従いまして、第 17 号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第 6 第 18 号議案「宗像地区事務組合水道事業会計補正予算（第 1 号）について」を議題といたします。

執行部に提案理由の説明を求めます。高山事務局長。

○高山事務局長

第 18 号議案について説明いたします。議案書の 18 ページをお開きください。

第 18 号議案 令和 5 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算（第 1 号）について

令和 5 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算（第 1 号）を別紙のとおり提出する。令和 5 年 5 月 15 日 宗像地区事務組合 組合長 原崎智仁

今回の補正予算につきましては、債務負担行為を設定するものです。

今年度施工を予定している「多礼浄水場 No. 3 導水ポンプ更新工事」の指名競争入札において、指名した全者が参加辞退したことにより、入札中止となりました。参加辞退の理由は、工期の不足及び技術者の確保困難でしたので、工期を確保し、再度入札を実施するためでございます。

水道事業会計補正予算書 1 ページをお開きください。

第 2 条債務負担行為の設定でございます。水道事業会計当初予算の第 5 条以下を繰り下げ、第 5 条に債務負担行為を追加するものでございます。債務負担行為の内容は、「多礼浄水場 No. 3 導水ポンプ更新工事」について、今年度予算計上額と同額を限度額とし、期間を令和 6 年度までとしています。これにより、今年度予算計上額と債務負担行為の限度額とで 2 重に要求する形となりますが、落札事業者との協議による年度別執行額決定後に、今年度予算額を減額補正する予定でございます。

以上で、令和 5 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算（第 1 号）の説明を終わります。

ご審議のほどよろしくお願いします。

○神谷議長

本案に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。豆田議員。

○豆田議員

全者辞退、工期不足ということでした。工期を確保するということでしたけれども、この工期が不足した期間のことで、工期を確保するというのはどういうことなのかを教えてください。

○神谷議長

高山事務局長。

○高山事務局長

想定のもとでは、14 か月を想定しております。一般会計では、繰越明許費として予算計上するので

すが、公営企業会計には繰越明許費として予算計上することがございますので、債務負担行為で予算を確保して、14 か月を目途に実施する予定にしております。

○神谷議長

豆田議員。

○豆田議員

工期確保の 14 か月は分かったんですが、最初、工期不足で全者入札を辞退ということだったんですが、工期はどのようにされていたんでしょうか。今では、延びて 14 か月にしたという話ですよ。もともとはどのくらいだったんですか。

○神谷議長

高山事務局長。

○高山事務局長

当初は、4 月に入札して、来年 3 月までの 11 か月を想定しておりました。

○神谷議長

よろしいでしょうか。

他にございませんか。石松議員。

○石松議員

お聞きしたいことは、今局長のほうからは、11 者全者が辞退したということの理由として、工期がないということと、技術者の不足というお話でした。私はそれに加え、いわゆる入札する金額が合わないということが 1 番の本命じゃないかなと思っているんですけども。その辺のところは、例えば今、物価高騰していますよね、人件費も含めていろんなものが。そうすると、この入札するものが、いわゆる設計単価が妥当であったのかどうかというのが私は重要じゃないかと。極端に 1 年前の単価等を持ってきてやったということはないのかどうか、その点についてお伺いしたいと思います。

○神谷議長

豊福経営施設課長。

○豊福経営施設課長

現在の設計額については、予算計上するときに、見積りをとって設計をしております。今回の理由としましては、多くの企業が、ポンプの製作の受注増によって間に合わないということが大きな理由でございましたので、今回の入札に関しては、設計額は変更なく実施したいと考えております。また、そのときに別の理由が出てくれば、再見積りなどをして、実施をしたいと考えております。以上です。

○神谷議長

石松議員。

○石松議員

今回の 11 者ですね、名だたる会社が入札の指名されているわけですが、今回は 1 回流れたので、次回、再度指名すると思うんですけど、そのときには、同じメンバーとするのか、それとも全部入替えて、再度指名をされる予定なのか、その点について伺いたいと思います。

○神谷議長

豊福経営施設課長。

○豊福経営施設課長

現段階では、同じ業者を指名して執り行いたいと考えております。以上です。

○神谷議長

石松議員。

○石松議員

そうしましたら、基本的には設計の変更とかをしないだろうと思うんですけども、そうすると納期を 3 か月ぐらい後ろに下げることだけで手を挙げてくれるところがあるというふうに執行部では理解をされてるということよろしいですか。

○神谷議長

豊福経営施設課長

○豊福経営施設課長

議員のおっしゃるとおり、今回、工期だけ延長すれば応札してくれるものと考えております。以上です。

○神谷議長

よろしいですか。他にございませんか。

(なしの声)

○神谷議長

ないようですので、質疑を終結します。

次に、本案に対する討論を受けます。ご意見ございませんか。

(なしの声)

○神谷議長

ないようですので、討論を終結します。

これより、第 18 号議案について採決を行います。本案を原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(全員起立)

○神谷議長

全員賛成であります。従いまして、第 18 号議案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の議事は、全て終了いたしました。

なお、本会議中の誤読などによる字句、数字等の整理、訂正につきましては、会議規則第 42 条の規定に基づき、議長に委任いただきたいと思います。これにご異議ございませんか。

(なしの声)

○神谷議長

ご異議なしと認めます。

従いまして、字句、数字等の整理、訂正につきましては、議長に委任いただくことに決定いたしました。

これをもちまして、令和 5 年第 2 回臨時会を閉会いたします。